



## Dominion PX

### クイック セットアップ ガイド

Dominion PX インテリジェント分電盤 (PDU) をご購入いただき、ありがとうございます。Raritan Dominion PX は、サーバールームのラックに設置されているようなコンピュータや通信機器などの IT 機器に電力を供給することを目的とした製品です。

このクイック セットアップ ガイドでは、Dominion PX のインストール方法と設定方法について説明します。Dominion PX の詳細については、『Dominion PX ユーザ ガイド』を参照してください。このユーザ ガイドは、Raritan Web サイトの Firmware and Documentation [ファームウェア およびマニュアル] セクション (<http://www.raritan.com/support/firmware-and-documentation/>) からダウンロードできます。または、「Product Online Help (製品オンライン ヘルプ)」セクション (<http://www.raritan.com/support/online-help/>) から製品のオンライン ヘルプにアクセスできます。このリリースの詳細については、「Firmware and Documentation (ファームウェアとドキュメント)」セクションで入手できる最新のリリース ノートを参照してください。

インライン モニタ (PX-3nnn シリーズ。nnn は数字) への電源コード取り付けについては、Dominion PX デバイスに付属の『Dominion PX インストール ガイド』を参照してください。

### Dominion PX の開梱

Dominion PX には、ゼロ U、1U、および 2U の各サイズがあります。以下に、各サイズの製品に付属している機器を示します。コンポーネントのパッケージを開梱します。お買い上げの販売代理店までご連絡ください。

#### ゼロ U サイズ

- Dominion PX デバイス (DPX)
- 工具不要の取り付けブラケット、およびネジ付きのブラケット
- マル モデム ケーブル (一端は RJ-45 コネクタ、もう一端は DB9F コネクタ)
- クイック セットアップ ガイド
- 保証書

#### 1U および 2U サイズ

- Dominion PX デバイス (DPX)
- 1U または 2U のブラケット バックとネジ
- マル モデム ケーブル (一端は RJ-45 コネクタ、もう一端は DB9F コネクタ)
- クイック セットアップ ガイド
- 保証書

### 設置前の確認点

1. 設置場所を準備します。設置場所が清潔で、適切な温度と湿度の範囲であることを確認します。Dominion PX の周囲にケーブルとアウトレット (コンセント) の接続のための十分なスペース

を確保します。安全の指針については、『Dominion PX ユーザ ガイド』を参照してください。

2. 『Dominion PX ユーザ ガイド』の「装置の設定ワークシート」に、PDU の電源アウトレット (コンセント) に接続する各 IT 機器のモデル、シリアル番号、および使用状況を記録します。

### Dominion PX の取り付け

#### サーキット ブレーカの向きの制限

通常、PDU はどの向きでも装着できます。ただし、サーキット ブレーカ付きの PDU を装着する場合は、次のルールに従う必要があります。

- サーキット ブレーカを下向きにすることはできません。たとえば、サーキット ブレーカ付きのゼロ U PDU を天井に水平に装着しないでください。
- ボートや飛行機などの環境でラックが衝撃を受ける場合は、PDU を上下を逆にして装着することはできません。上下を逆にして装着すると、衝撃応力によりトリップ点が 10% 下がります。

注: 通常の状態では電源コードが下向きの場合、上下を逆にするると電源コードが上向きになります。

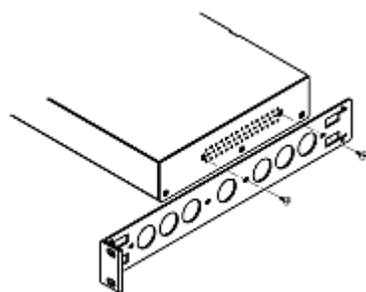
#### 1U モデルまたは 2U モデルの装着

適切なブラケットと工具を使用して、1U または 2U の Dominion PX デバイスをラックまたはキャビネットに固定します。PDU にサーキット ブレーカが実装されている場合は、マウントする前に「サーキット ブレーカの向きの制限」『1p. 』をお読みください。

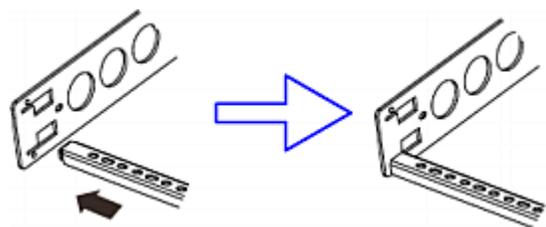
▶ **Dominion PX デバイスを装着するには、次の手順に従います。**

1. ラック マウント ブラケットを Dominion PX デバイスの側面に取り付けます。
  - a. ラック マウント ブラケットの 2 つの楕円形の穴と Dominion PX デバイスの側面にある 2 つのねじ穴を合わせます。
  - b. ラック マウント ブラケットを Raritan が提供する 2 つのねじで固定します。

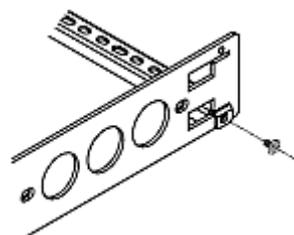
注: ラック マウント ブラケットの楕円形の穴の適切な場所は、モデルのねじ穴によって異なる場合があります。



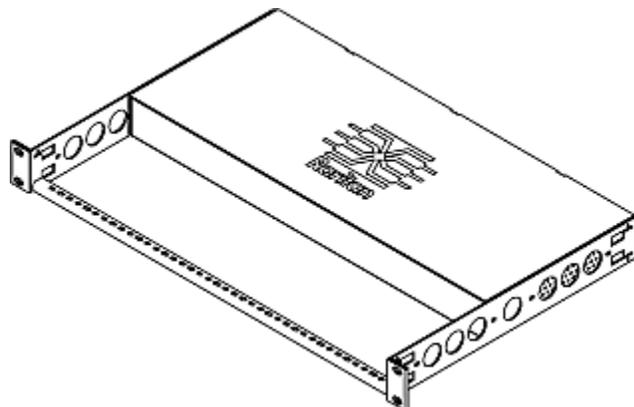
2. 手順 1 を繰り返して、もう一方のラック マウント ブラケットを Dominion PX のもう一方の側面に固定します。
3. ケーブル サポート バーの一方の端をラック マウント ブラケットの L 型の穴に挿入し、バーの端にある穴を L 型の穴の横にあるねじ穴に合わせます。



4. ケーブル サポート バーを Raritan が提供するキャップねじで固定します。



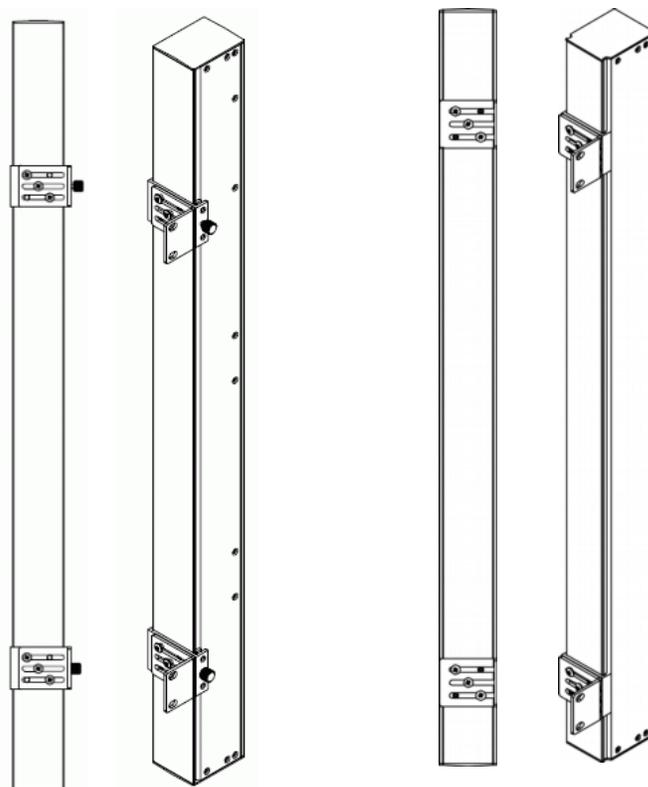
5. 手順 3 ~ 4 を繰り返して、ケーブル サポート バーのもう一方の端をもう一方のラック マウント ブラケットに固定します。



6. 手持ちのねじ、ボルト、ケージ ナットなどでラック マウント ブラケットの耳をラックの前面のレールに固定して、ラックに Dominion PX デバイスを装着します。

**L-ブラケットを使用したゼロ U モデルの取り付け**

PDU にサーキット ブレーカが実装されている場合は、マウントする前に「サーキット ブレーカの向き制限『1p. 』」をお読みください。

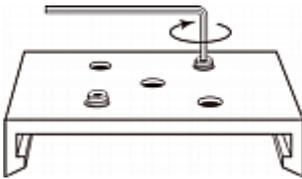


▶ **L-ブラケットを使用してゼロ U モデルを取り付けるには、次の手順に従います。**

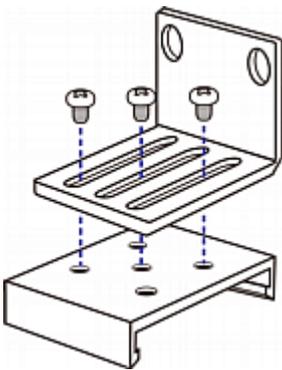
1. Dominion PX デバイスの背面にベースプレートを合わせます。
2. ベースプレートを所定の位置に固定します。同梱されているベースプレートの種類はモデルに応じて異なります。
  - つまみねじでベースプレートを固定するには、しっかり固定されるまでつまみねじを締めます。



- つまみねじなしでベースプレートを固定するには、付属の L 型六角レンチを使用して、ベースプレートが固定されるまで六角穴付きねじを緩めます。

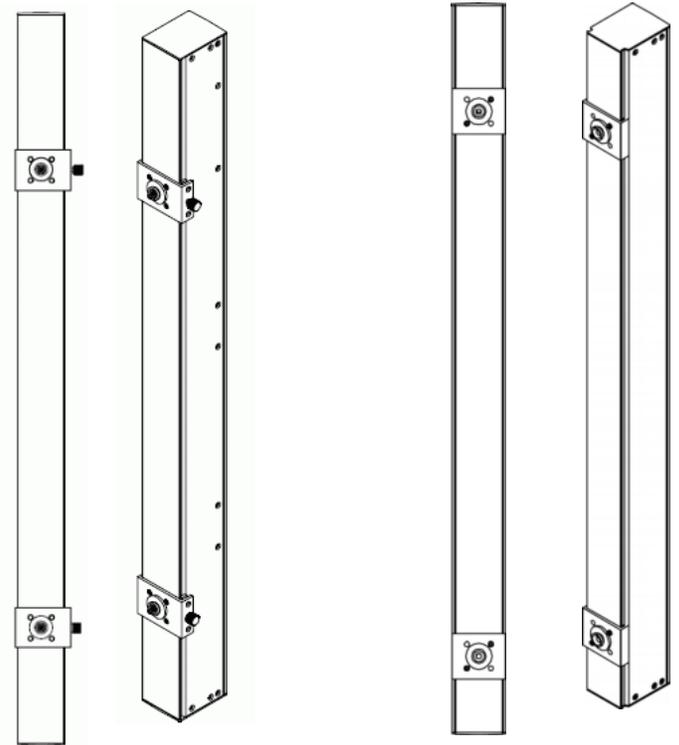


3. ベースプレートの 5 つのねじ穴と L-ブラケットのスロットが合うように、L-ブラケットとベースプレートの位置を合わせます。ラック マウント側のブラケットは、Dominion PX デバイスの左側または右側に面している必要があります。
4. ブラケットを少なくとも 3 つのネジ (各スロットに 1 つ) で適切な位置に固定します。必要に応じて残りのネジも使用します。



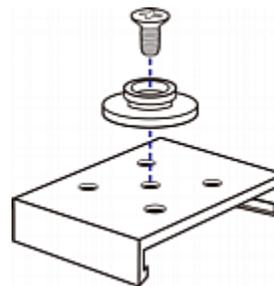
5. ラックのねじを使用して、Dominion PX デバイスを L-ブラケットを通してラックに固定します。

**ボタン マウントを使用したゼロ U モデルの取り付け**  
PDU にサーキット ブレーカが実装されている場合は、マウントする前に「**サーキット ブレーカの向きの制限**」『1p. 』をお読みください。



▶ **ボタン マウントを使用してゼロ U モデルを取り付けるには、次の手順に従います。**

1. Dominion PX デバイスの背面にベースプレートを合わせます。安定性のため、ベースプレートの間隔を 60cm 以上にしてください。
2. ベースプレートに Dominion PX デバイスを軽く留めます。
  - 蝶ネジ付きのベースプレートの場合は、蝶ネジを“軽く”締まるまで回します。
  - 蝶ネジのないベースプレートの場合は、同梱の L 形六角レンチを使用して、ベースプレートが“軽く”固定されるまで六角穴付きネジを緩めます。
3. 各マウント ボタンを各ベースプレートの中央でねじ留めます。ボタンの推奨トルクは 1.96 N・m (20 kgf・cm) です。

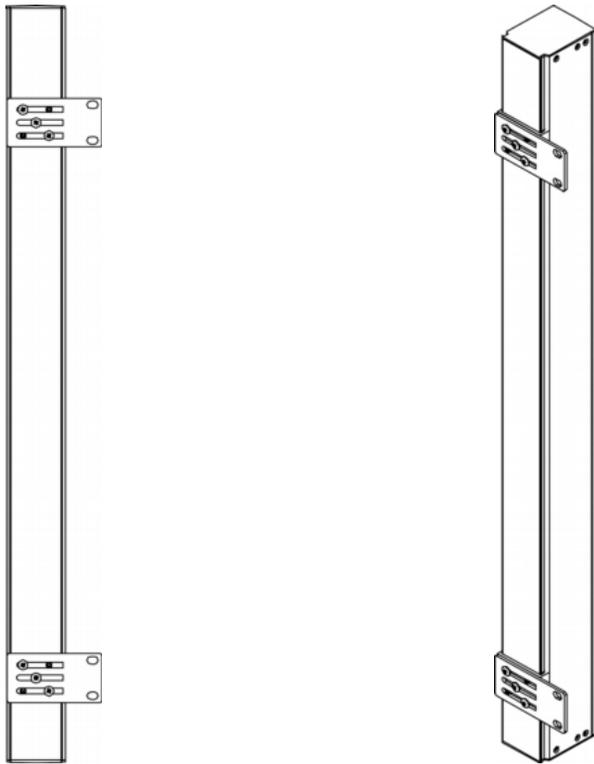


4. 大きいマウント ボタンをキャビネットのマウント穴に合わせ、一方を固定し、もう一方を調整します。

5. マウント ボタンがそれぞれの位置で固定されるまで、ベースプレートの種類に応じて蝶ネジをさらに締めるか六角穴付きネジを緩めます。
6. 両方のボタンは、マウント穴に同時にはまるようにします。
7. Dominion PX デバイスを前に押し、マウント穴にマウント ボタンを押し込み、デバイスが約 1.6 cm 下がるようにします。これにより、Dominion PX デバイスが所定の位置に固定され、設置が完了します。

### かぎつめ足ブラケットを使用したゼロ U モデルの取り付け

PDU にサーキット ブレーカが実装されている場合は、マウントする前に「**サーキット ブレーカの向きの制限**」『1p.』をお読みください。

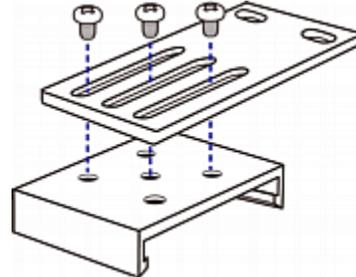


### ▶ かぎつめ足ブラケットを使用してゼロ U モデルを取り付けるには、次の手順に従います。

1. Dominion PX デバイスの背面にベースプレートを合わせます。
2. ベースプレートを所定の位置に固定します。
  - つまみねじでベースプレートを固定するには、しっかり固定されるまでつまみねじを締めます。
  - つまみねじなしでベースプレートを固定するには、付属の L 型六角レンチを使用して、ベースプレートが固定されるまで六角穴付きねじを緩めます。
3. ベースプレートの 5 つのねじ穴とかぎつめ足ブラケットのロットが合うように、かぎつめ足ブラケットとベースプレートの位置

を合わせます。ラック マウント側のブラケットは、Dominion PX デバイスの左側または右側に面している必要があります。

4. ブラケットを少なくとも 3 つのネジ（各スロットに 1 つ）で適切な位置に固定します。必要に応じて残りのネジも使用します。



5. ラックのねじを使用して、Dominion PX デバイスをかぎつめ足ブラケットを通してラックに固定します。

## Dominion PX の電源への接続

PDU とその電源の距離は、コードが伸びてしまわないように、PDU の電源コードより短くする必要があります。しっかり接続するために、電源のロック コネクタを使用することをお勧めします。

### ▶ PDU を電源に接続するには、次の手順に従います。

1. Dominion PX デバイスのすべてのサーキット ブレーカがオンになっていることを確認します。オンになっていない場合は、該当するサーキット ブレーカをオンにします。

ヒューズのある PDU の場合、すべてのヒューズが正しく挿入され、配置されていることを確認します。ヒューズ カバーがある場合は、カバーが閉じていることを確認します。

注: すべての Dominion PX デバイスが、過電流保護機構を備えているわけではありません。

2. 各 Dominion PX デバイスを適切な定格の分岐回路に接続します。適切な入力定格または定格の範囲については、Dominion PX デバイスに貼られているラベルまたはネームプレートを参照してください。
3. 1U または 2U モデルの場合は、フロント パネルの青の電源 LED が点灯します。ゼロ U モデルは設備ラックの奥に取り付けられるため、このような電源 LED はありません。
4. Dominion PX デバイスの電源がオンになると、しばらくの間はパワーオン セルフテストとソフトウェアのロードが実行されます。このとき、アウトレット（コンセント）の LED がさまざまな色に切り替わります。

注: PDU の電源をオンにした後ブザーが鳴った場合は、そのサーキット ブレーカが作動しているか、ライン（電力線）と中性線の配線が逆になっています。作動しているサーキット ブレーカがない場合は、使用されているプラグ アダプタの配線、またはプラグまたはプラグ アダプタが電源ソケットに接続されている方向を確認します。

5. ソフトウェアのロードが完了すると、アウトレット（コンセント）の LED が一定の色になり、LED 表示が点灯します。

## Dominion PX のコンピュータへの接続

1. スル モデム ケーブルの RJ-45 コネクタを Dominion PX デバイスの前面にある [Serial (シリアル)] というラベルのポートに接続します。
2. スル モデム ケーブルのもう一方の端 (DB9 コネクタ) をコンピュータのシリアル ポート (COM) に接続します。

## Dominion PX のネットワークへの接続

1. 標準の Category 5e UTP ケーブルを Dominion PX デバイス前面の LAN ポートに接続します
2. ケーブルのもう一方の端を LAN に接続します。

## Dominion PX の設定

1. Dominion PX に接続したコンピュータで、ハイパーターミナルまたは PuTTY などの通信プログラムを開きます。
2. 適切な COM ポートを選択し、ポートが次のように設定されていることを確認します。
  - ビット/秒 = 9600
  - データ ビット = 8
  - ストップ ビット = 1
  - パリティ = なし
  - フロー制御 = なし
3. Enter キーを押します。最初の設定プロンプトが表示されます。
4. 「config」と入力して、Enter キーを押します。
5. PDU にデバイス名を付けるよう求められます。名前を入力し、Enter キーを押します。
6. いくつかのネットワーク パラメータの入力を求めるプロンプトが表示されます。

<b>IP address (IP アドレス)</b>	デフォルトの IP の設定方法は DHCP です。Dominion PX に IP アドレスを割り当てるには、次のいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 自動設定: [dhcp] または [bootp] を入力して、DHCP サーバまたは BOOTP サーバによって IP アドレスを指定します。</li> <li>▪ 静的 IP アドレス: プロンプトが表示されたら「None」と入力し、IP アドレス、ネットワーク マスク、およびゲートウェイを入力します。</li> </ul>
<b>IP Access Control (IP アクセス制御)</b>	この時点では、無効のままにしておきます。これによって、Dominion PX のファイアウォールが無効になります。初期設定の後、ファイアウォールを有効にしてアクセス制御ルールを作成します。
<b>LAN interface speed (LAN インタフェース速度)</b>	デフォルトの [auto (自動)] のままにするか、10 Mbps または 100 Mbps にする場合はそれぞれ [10] または [100] を入力します。
<b>LAN interface duplex mode (LAN インタフェース デュプレックス モード)</b>	デフォルトの [auto (自動)] のままにするか、「half」または「full」と入力してそれぞれ半二重または全二重にします。
<b>FIPS mode (FIPS モード)</b>	デフォルトの [no (いいえ)] のままにして FIPS モードを無効にしておくか、「yes」と入力して有効にします。FIPS モードでは、FIPS PUB 140-2 『 <a href="http://www.nist.gov/cmvp/">http://www.nist.gov/cmvp/</a> 参照』で定義されている、FIPS で承認されたアルゴリズムだけがサポートされます。
<b>SNMP agent (SNMP エージェント)</b>	デフォルトの [yes (はい)] のままにするか、「no」と入力して Dominion PX デバイスに実装されている SNMP エージェントを無効にします。

<b>SNMP v1/v2c protocol (SNMP v1/v2c プロトコル)</b>	<p>この設定は、SNMP エージェントが有効の場合のみ表示されます。</p> <p>デフォルトの [yes (はい)] のままにするか、「no」と入力して SNMP v1/v2c プロトコルを無効にします。有効にした場合は、プロンプトが表示されたら読み取りおよび書き込みコミュニティ スtring を指定してください。デフォルトの読み取りコミュニティ スtring は "raritan_public"、デフォルトの書き込みコミュニティ スtring は "raritan_private" です。</p>
<b>SNMP v3 protocol (SNMP v3 プロトコル)</b>	<p>この設定は、SNMP エージェントが有効の場合のみ表示されます。</p> <p>デフォルトの [no (いいえ)] のままにするか、「yes」と入力して SNMP v3 プロトコルを有効にします。有効にした場合は、プロンプトが表示されたら SNMP v3 暗号を強制するかどうかを指定してください。</p> <p>FIPS モードを有効にしている場合は、SNMP v3 プロトコルを有効にした後、SNMP v3 暗号が自動的に強制されます。この場合、SNMP v3 暗号を設定するためのプロンプトは表示されません。</p>

- SNMP エージェントが有効の場合は、SNMP プロトコル設定に関係なく、システムの場合と連絡先の指定が求められます。適切な値を入力し、Enter キーを押します。
- 次に、NTP の日付と時間の設定が求められます。LDAP 認証を使用するには、PDU の時刻を LDAP サーバと同期する必要があります。

<b>NTP enabled or disabled (NTP の有効化と無効化)</b>	<p>日付と時刻の設定には次の 2 つのオプションがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>NTP サーバと同期する: 日付と時刻を NTP サーバと同期する場合は、「y」と入力します。</li> <li>日付と時刻のカスタマイズ: NTP サーバとの同期を無効にする場合は、「n」と入力します。後で Dominion PX Web インタフェースにログインして、日付と時刻を手動で設定できます。</li> </ul>
<b>Time zone (タイムゾーン)</b>	<p>NTP の同期を有効にすると、タイムゾーンの一覧がページに表示されます。使用するタイムゾーンの番号または名前を入力します。</p>
<b>Daylight savings time (夏時間)</b>	<p>NTP の同期を有効にする場合は、夏時間を設定するためのプロンプトが表示されます。選択したタイムゾーンで夏時間が採用されている場合は、「yes」と入力して夏時間を有効にするか、「no」と入力して無効にします。</p>

<b>NTP server settings (NTP サーバ設定)</b>	<p>NTP サーバを指定するには、次の 2 つの方法があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>DHCP または BOOTP によって割り当てられた NTP サーバ: 「yes」と入力すると、Dominion PX は DHCP または BOOTP サーバによって提供された NTP サーバ (複数の場合あり) と同期されます。</li> <li>手動で指定された NTP サーバ: 「no」と入力し、プロンプトが表示されたらプライマリおよびセカンダリ NTP サーバを入力します。</li> </ul>
--	---

- パラメータをすべて入力すると、入力値を確定するよう求められます。正しくない値がある場合は「n」を入力して Enter キーを押し、その値を変更します。正しい場合は「y」と入力し、Enter キーを押します。

注: デフォルトの静的 IP アドレスは、192.168.0.192 です。デフォルトの IP の設定方法は DHCP です。デフォルトの IP アドレスは、設定プロセスが完了したら、DHCP または BOOTP によって割り当てられたアドレス、または各自が入力した静的 IP アドレスによって置き換えられます。工場出荷時のデフォルト IP アドレスを使用するには、IP の自動設定コマンドで「none」と入力します。

これで、インストールと設定が終了しました。

**重要: IP アドレス設定が反映されるまで、少なくとも 3 分お待ちください。**

### 次の処理手順

- Dominion PX のアウトレット (コンセント) に IT 機器を接続します。
- LAN に接続したコンピュータで、ブラウザを開いて Dominion PX デバイスの IP アドレスを指定します。
- ユーザ名とパスワードを入力するプロンプトが表示されたら、「admin」および「raritan」と入力します。
- プロンプトが表示され、admin パスワードを変更するよう求められます。これを実行すると、Dominion PX ページが開きます。
- Dominion PX は、工場出荷時には、すべてのアウトレット (コンセント) がオンになっています。デバイスが接続されていないアウトレット (コンセント) は、Web インタフェースからオフにすることができます。
- ページの上部に表示されるメニューを使用して、ユーザ プロファイルの作成、権限の設定、セキュリティの設定、およびアウトレット (コンセント) のしきい値の設定を行います。

注: 操作手順については、『Dominion PX ユーザ ガイド』を参照してください。

## MAC アドレス

Dominion PX デバイスには、LED 表示の近くに、PDU のシリアル番号および MAC アドレスが記載されたラベルが貼付されています。



必要な場合は、一般的なネットワーク ツールを使用することで、MAC アドレスから PDU の IP アドレスを検出できます。サポートについては、LAN 管理者にお問い合わせください。

## 安全および設置についての情報

### 注意:

『Dominion PX ユーザ ガイド』と併せて、ここに記載されている指示に従ってください。

この製品の設置は、関連する法規/規制 (例: 英国における IEE wiring regulations (IEE 配線規制)) による要件および業界の慣行に従って、適切な資格を持った担当者がある必要があります。これらの製品の設計およびテストの対象になった使用方法についての情報が必要な場合、ご要望に応じて提供いたします。設置を実施する際には、安全衛生に関する適切な規制に従って実行する必要があります。

### テスト

すべての PDU は、必要な規格に準拠していることをテストして検証できます。さらにシステム配線を配置する場合や、より大きなシステムにモジュールが統合される場合、国内の配線規制に従っているかどうか、使用前に設置環境全般をテストする必要があります。

特定の規格に準拠する場合、設置後、使用前に電気的な設置状況をテストする必要があり、また、一般的な使用状況では、製品の定期的な検査の必要があります。電気的および視覚的なチェックの頻度は、PDU の使用状況の性質によって異なり、その状態に応じて、設置者がテスト頻度を決定する必要があります。通常のテストについてのガイドラインを次に示します。

### 接地の接続

電源装置の接地線とアウトレット (コンセント) ソケットの接地コネクタとの間では、交流電源から 12V 以下の無負荷電圧で 25A の電流が流れます。このテストは、接地する必要がある周辺の設置のすべてのパーツで繰り返す必要があります。

3m を超える電源コードが指定されている場合は、多くの PAT テスターに共通する 100mΩ の限界を超えることがあります。製品に障害が発生したことを示すわけではありません。コードの長さを確認して、適切に対応する必要があります。

### 導線の接続と極性

システムをチェックして、すべての配線の極性と接続に問題がないことを確認する必要があります。

### 絶縁抵抗

中性線と接地の間の絶縁抵抗は、直流 500V のテスト電源を使用して測定し、その測定された抵抗が 1.0MΩ 未満である必要があります。

### 瞬間試験

中性線と接地との間で瞬間的に交流 1500V の電圧をかけたときに、漏電が 1mA 以下である必要があります。注: 電源コードの長さが 3m を超えていると、ユニットからの漏電がより大きくなる可能性があります。適切に対応する必要があります。

ライン (電力線) と中性線の間でテストすると、ネオン インジケータ (適用する場合) のためにエラーになることがあります。

### フィルタが組み込まれたユニットについて

フィルタ システムが組み込まれたユニットには、直流 500V で中性線と接地のテストを実行できます。ただし、交流 1500V で瞬間試験を実行すると、フィルタ コンポーネントの性質上、絶縁テストで高い漏電値を示すことがあります。

フィルタ ユニットが通常の状態にあるときの、静止状態の接地漏電をチェックすることができます。その値は 250V、50Hz で 0.9mA 以下である必要があります。

ラインから中性線への瞬間試験および絶縁試験を実行すると、フィルタ システムの存在によって明確な結果が得られず、さらにサージ抑制回路を損傷することがあります。

### 使用方法

このシステムは、最新の安全性要件に準拠して設計されています。一般的な使用のための規格に準拠し、さらに、この PDU は 19 インチ (48.26cm) のラック マウント環境で使用するために、工場設定されています。他の状況での使用を除外するものではありません。

### 安全注意事項

**警告:** このガイドのすべてのセクションを読んで理解してから、本製品を設置または運用してください。

**警告:** 本製品は、電圧が製品のネームプレートに示されている範囲内にある AC 電源に接続してください。ネームプレートの電圧を超えた状態で本製品を動作させると、感電、火災、死傷につながるおそれがあります。

**警告:** 本製品は、国や地域の電気工事規定に従って適切な定格のヒューズまたはサーキット ブレーカで電流が制限されている AC 電源に接続してください。適切な電流制限をかけずに本製品を動作させると、感電、火災、死傷につながるおそれがあります。

**警告:** 本製品は、保安用接地に接続してください。製品のプラグと壁のアウトレット（コンセント）の間に「グラウンド リフト アダプタ」は使用しないでください。保安用接地に接続していない場合、感電、火災、死傷につながるおそれがあります。

**警告:** 本製品には、ユーザによる保守が可能な部品はありません。本製品を開いたり、改造や分解をしたりしないでください。あらゆる保守サービスは、資格を持った担当者が行う必要があります。本製品の保守サービスを行う前に、電源を切断してください。この警告に従わなかった場合、感電、死傷につながるおそれがあります。

**警告:** 本製品は、湿気の少ない場所で使用してください。本製品を湿気の多い場所で使用した場合、感電、死傷につながるおそれがあります。

**警告:** 本製品のアウトレット（コンセント）ランプ、アウトレット（コンセント）リレー スイッチ、およびその他のアウトレット（コンセント）電源オン/オフ インジケータを利用して、アウトレット（コンセント）に電力が供給されているかどうかを判断しないようにしてください。本製品に接続されているデバイスの修理や保守サービスを行う前に、そのデバイスの電源プラグを抜いてください。デバイスの電源プラグを抜かずして保守サービスを行うと、感電、火災、死傷につながるおそれがあります。

**警告:** 本製品は、UL/IEC 60950-1 に相当する定格の IT 機器に電力を供給する場合にのみ使用してください。この定格を満たしていないデバイスに電力を供給しようとすると、感電、火災、死傷につながるおそれがあります。

**警告:** アウトレット（コンセント）リレーを含む Raritan 製品は、モーターやコンプレッサのような大量の誘導負荷に電力を供給する目的では使用しないでください。大量の誘導負荷に電力を供給しようとすると、リレーが損傷するおそれがあります。

**警告:** 本製品は、重篤な患者向けの医療機器、火災報知器、煙感知器などに電力を供給する目的では使用しないでください。本製品を使用してそのような機器に電力を供給すると、死傷につながるおそれがあります。

**警告:** 本製品が、電源コードやプラグの取り付けが必要なモデルである場合、そうした取り付け作業はすべて電気工事が行き、製品のネームプレートに記載されている定格および国や地域の電気工事規定に基づいて、適切な定格のコードやプラグを使用する必要があります。無資格の電気技術者が取り付けを行った場合や、適切な定格のコードやプラグを使用しなかった場合は、感電、火災、死傷につながるおそれがあります。

**警告:** 本製品には、カリフォルニア州において発癌、出生異常、または生殖障害の原因として知られている化学物質が含まれています。

## その他の情報

Dominion PX™ および Raritan 製品ラインナップ全体の詳細については、Raritan の Web サイト ([www.raritan.co.jp](http://www.raritan.co.jp)) を参照してください。技術的な問題については、Raritan のテクニカル サポート窓口にお問い合わせください。世界各地のテクニカル サポート窓口については、Raritan の Web サイトの「Support」セクションにある「Contact Support」ページを参照してください。

Raritan の製品では、GPL および LGPL の下でライセンスされているコードを使用しています。お客様は、オープン ソース コードのコピーを要求できます。詳細については、Raritan の Web サイトにある「Open Source Software Statement」(<http://www.raritan.com/about/legal-statements/open-source-software-statement/>) を参照してください。